

2021年3月期 第3四半期

# 決算説明資料

2021年2月  
日本ケミコン株式会社

## ● 2020年度第3四半期実績（前年同期比）

さらなる構造改革効果と高収益製品比率の向上により利益体質への転換!!

単位：億円

	2019年度	2020年度	前年同期比	
	第3四半期累計	第3四半期累計	増減	増減率（%）
売上高	856.2	798.5	△57.7	△6.7
売上総利益	132.2	148.0	+15.7	+11.8
売上高比率	15.4%	18.5%	+3.1pt	-
販売管理費	152.2	133.9	△18.2	△11.9
売上高比率	17.8%	16.8%	△1.0pt	-
営業利益	△19.9	14.0	+33.9	-
売上高比率	△2.3%	1.8%	+4.1pt	-
親会社株主に帰属する当期利益	△33.5	5.4	+38.9	-
売上高比率	△3.9%	0.7%	+4.6pt	-
設備投資	42.3	23.1	△19.1	△45.2
減価償却費	53.1	43.2	△9.9	△18.7
研究開発費	31.3	27.9	△3.4	△11.0
平均為替レート USドル／円	108.67	106.11	2.3%の円高	
ユーロ／円	121.05	122.38	1.0%の円安	

● 2020年度第3四半期実績 製品別売上高（前年同期比）

車載、ICT市場向け導電性、ハイブリッドコンとコンデンサ材料の売上が拡大!! 単位：億円

	2019年度	2020年度	前年同期比	
	第3四半期累計	第3四半期累計	増減	増減率（%）
アルミ電解	725.5	686.1	△39.4	△5.4
内 導電性	92.2	109.5	+17.3	+18.7
D L C A P™	34.2	24.5	△9.7	△28.3
セラコン・バリスタ	22.0	18.6	△3.4	△15.4
機構	26.5	18.6	△7.9	△29.7
コンデンサ材料	30.9	35.9	+5.0	+16.1
その他	17.0	14.6	△2.4	△14.1
合計	856.2	798.5	△57.6	△6.7

## ● 2020年度第3四半期実績（直前四半期比）

荷造運送費の高騰の中、製品ミックスと生産性改善による売上総利益率向上で収益改善!! 単位：億円

	2019年度	2020年度		前年同期比		直前四半期比	
	第3四半期	第2四半期	第3四半期	増減	増減率（%）	増減	増減率（%）
売上高	280.5	284.0	276.7	△3.8	△1.3	△7.3	△2.5
売上総利益	45.2	49.7	57.2	+12.0	+26.5	+7.5	+15.0
売上高比率	16.1%	17.5%	20.7%	+4.6pt	-	+3.2pt	-
販売管理費	48.8	44.5	45.3	△3.5	△7.1	+0.7	+1.7
売上高比率	17.4%	15.7%	16.4%	△1.0pt	-	+0.7pt	-
営業利益	△3.5	5.2	11.9	+15.4	-	+6.7	+128.8
売上高比率	△1.3%	1.8%	4.3%	+5.6pt	-	+2.5pt	-
親会社株主に帰属する当期利益	△8.6	4.5	6.9	+15.5	-	+2.4	+53.3
売上高比率	△3.1%	1.6%	2.5%	+5.6pt	-	+0.9pt	-
設備投資	10.5	7.3	7.5	△3.0	△28.5	+0.2	+2.7
減価償却費	18.1	14.2	14.5	△3.6	△20.2	+0.3	+2.1
研究開発費	10.5	9.0	9.4	△1.1	△10.4	+0.4	+4.4
平均為替レート USドル／円	108.76	106.22	104.51	3.9%の円高		1.6%の円高	
ユーロ／円	121.32	124.11	124.54	2.6%の円安		0.3%の円安	

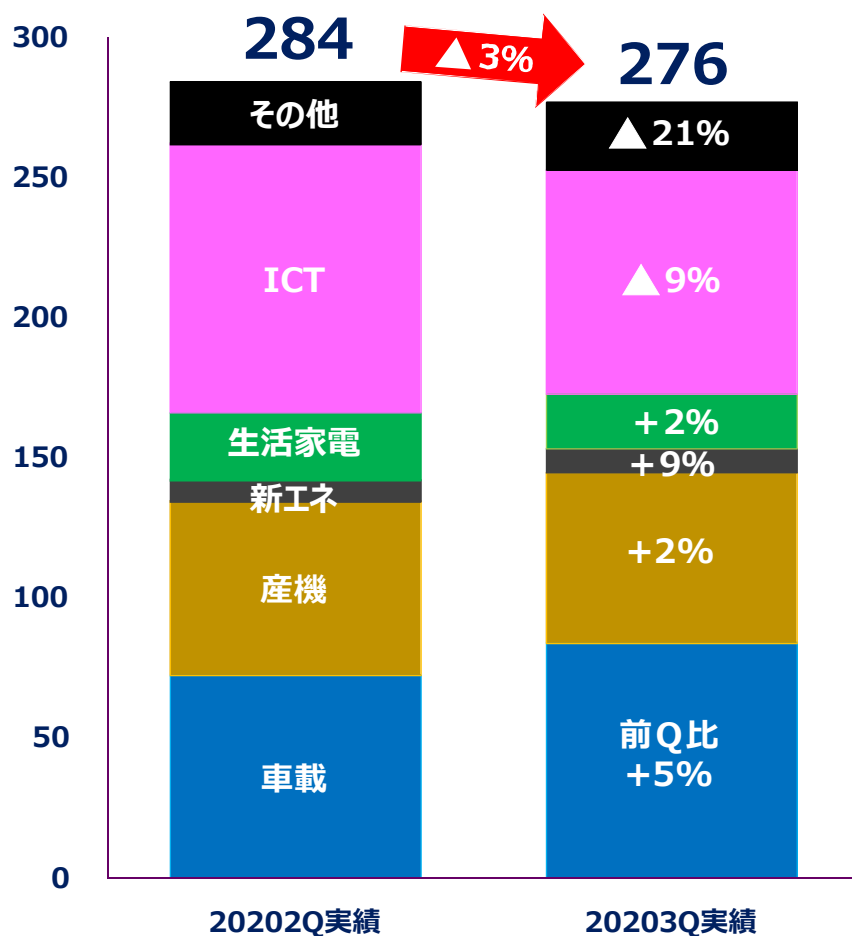
## ● 2020年度第3四半期実績 製品別売上高（直前四半期比）

車載市場向け導電性、ハイブリッドコンデンサ、DLCAP需要が回復し、製品ミックス改善!! 単位：億円

	2019年度	2020年度		前年同期比		直前四半期比	
	第3四半期	第2四半期	第3四半期	増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
アルミ電解	239.4	246.4	238.4	△1.0	△0.4	△8.0	△3.2
内 導電性	33.6	36.8	39.0	+5.4	+16.1	+2.2	+5.9
D L C A P™	9.8	8.7	10.3	+0.5	+5.1	+1.6	+18.3
セラコン・バリスタ	7.0	6.3	6.1	△0.9	△12.8	△0.2	△3.2
機構	8.6	6.5	5.9	△2.7	△31.3	△0.6	△9.2
コンデンサ材料	10.6	9.9	11.8	+1.2	+11.3	+1.9	+19.1
その他	4.9	5.9	3.9	△1.0	△20.4	△2.0	△33.8
合計	280.5	284.0	276.7	△3.8	△1.3	△7.3	△2.5

## ● 2020年度第3四半期 売上高実績 戦略市場別（直前四半期比）

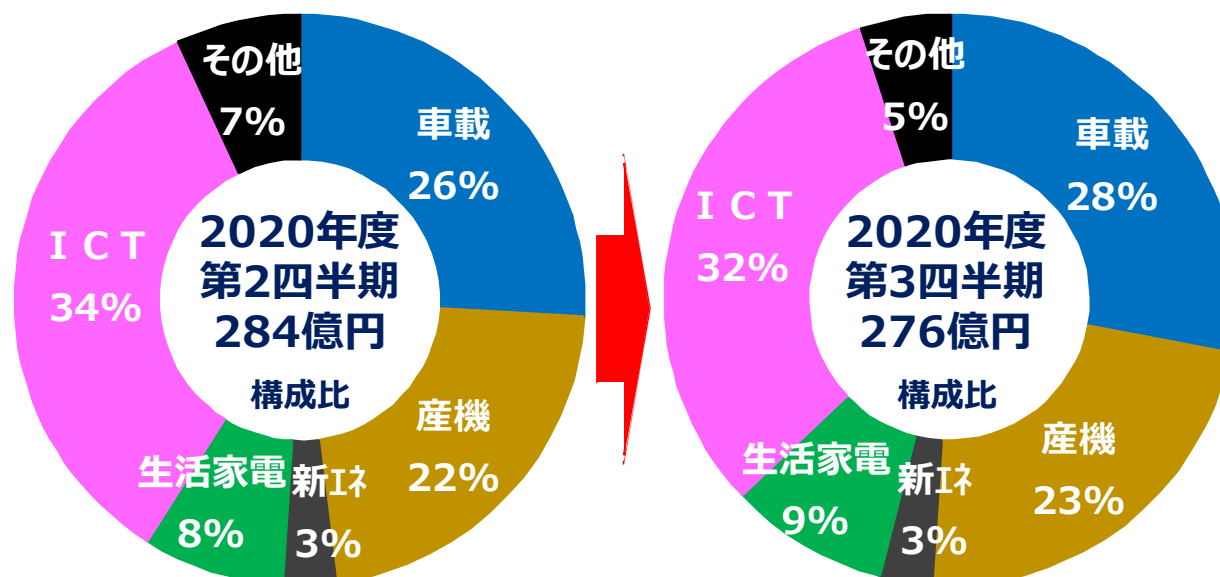
売上高：億円



↑ 車載：全世界的に自動車の生産台数が回復

↑ 産機：FA、半導体、ロボット、自動車向けなど回復基調

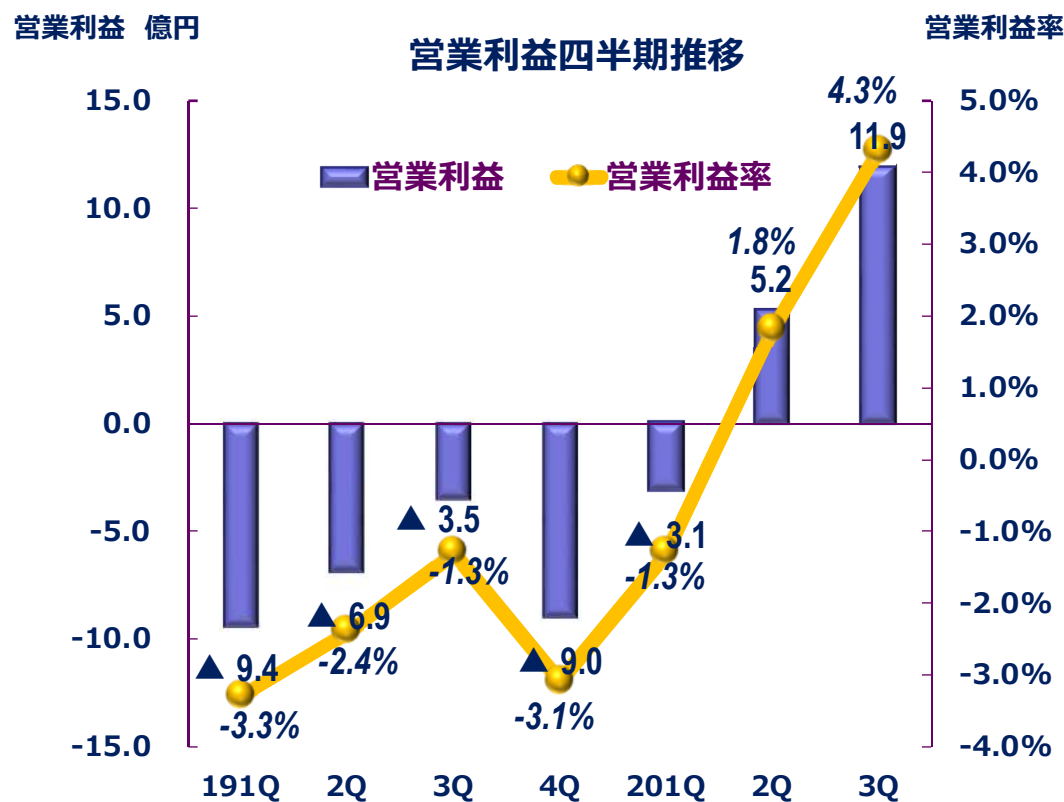
↓ ICT：PC、通信基地局関連市場が足踏み



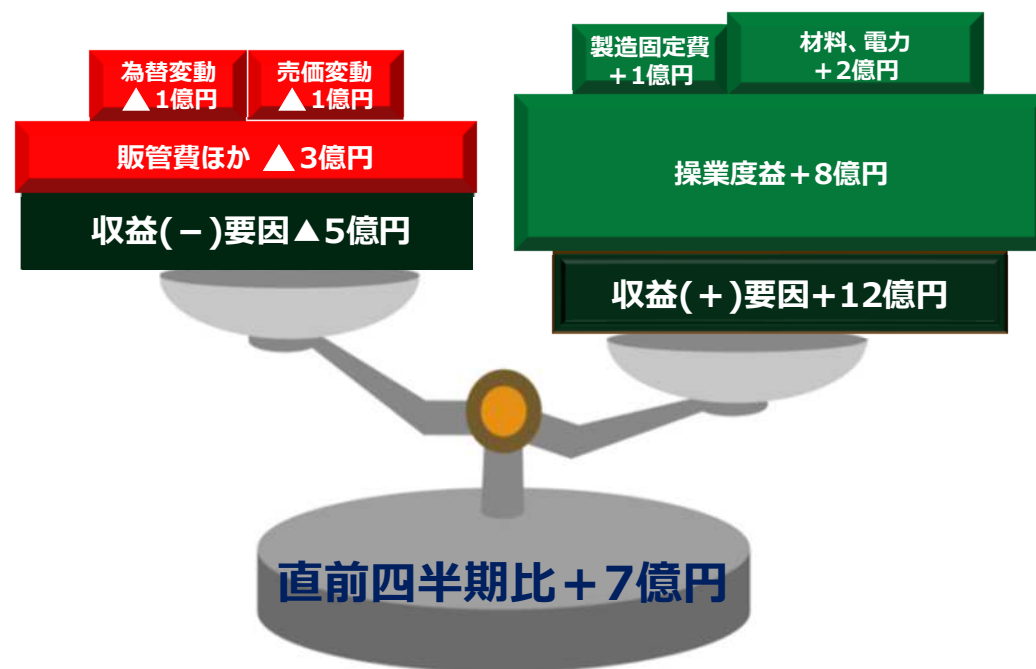
## ● 2020年度第3四半期実績 営業利益（直前四半期比）

収益(+)要因 ① 操業度向上 ② 材料・電力費低減 ③ 製造固定費圧縮

収益(-)要因 ① 物流費等販管費増加 ② 円高による為替差損 ③ 売価変動



## 2020年度第3四半期 営業利益増減要因



## ● 構造改革の第3四半期実績について

固定費削減、生産性と操業度の向上が進展し、構造改革効果は計画以上に!!  
業績改善効果 第3四半期累計 16.8億円/進捗度84%(20年度計画20億円)

主要施策	1Q実績	2Q実績	3Q実績	累計
① 固定費削減 人件費削減、減価償却費など	2.5億円	3.1億円	4.5億円	10.1億円
② 生産性向上による改善 スマートファクトリー化推進 電極箔事業高稼働体制の確立	1.8億円	0.5億円	2.5億円	4.8億円
③ 新商品による高収益化	0.0億円	1.7億円	0.3億円	1.9億円
合計	4.3億円	5.3億円	7.2億円	16.8億円



## ● 2020年度第4四半期業績見通し

新製品拡販と設備稼働率向上による収益改善で、営業利益計画達成へ!!

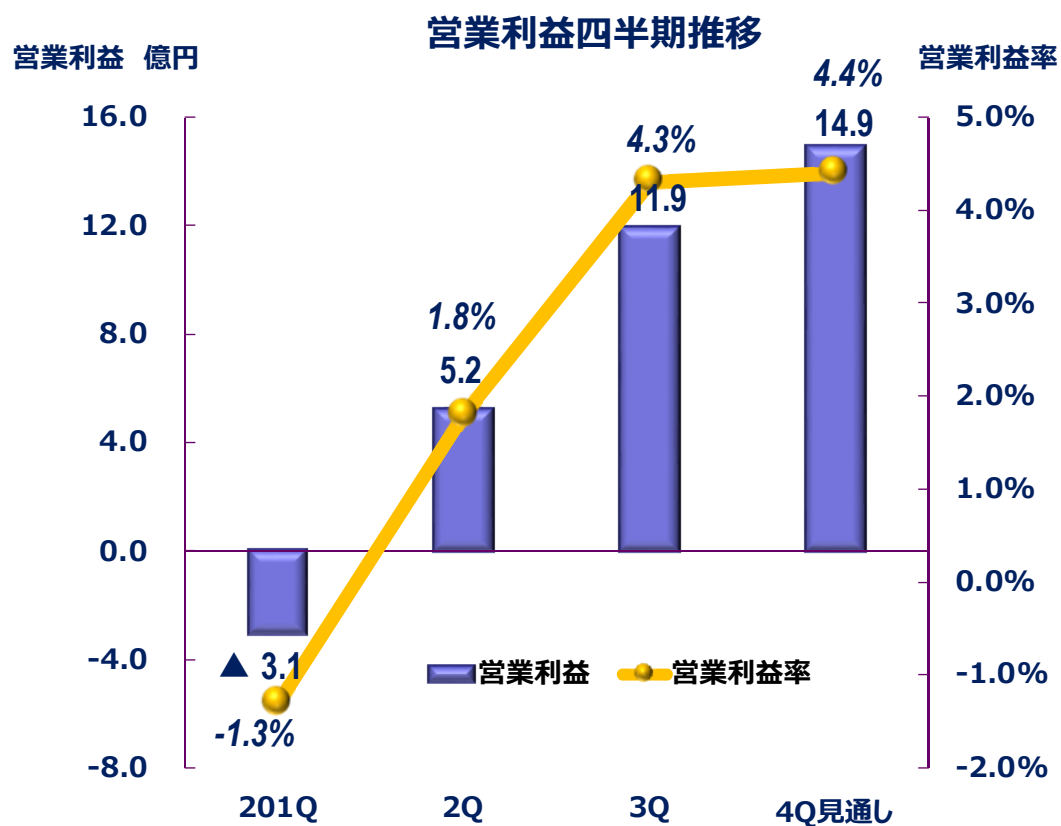
単位：億円

	2019 年度	2020年度							前年比	
	通期実績	上期実績	第3四半期 実績	第4四半期 見通し	前四半期 増減	増減率 (%)	下期 見通し	通期見通し	増減	増減率 (%)
売上高	1,145.9	521.8	276.7	336.4	59.7	+21.5	613.1	1,135.0	△10.9	△1.0
売上総利益	178.3	90.7	57.2	67.3	10.1	+17.6	124.6	215.4	+37.0	+20.8
売上高比率	15.6%	17.4%	20.7%	20.0%	△0.7pt	-	20.3%	19.0%	+3.4pt	-
販売管理費	207.2	88.6	45.3	52.4	+7.1	+15.6	97.7	186.4	△20.8	△10.1
売上高比率	18.1%	17.0%	16.4%	15.6%	△0.8pt	-	15.9%	16.4%	△1.9pt	-
営業利益	△28.9	2.0	11.9	14.9	+3.0	+25.2	26.9	29.0	+57.9	-
売上高比率	△2.5%	0.4%	4.3%	4.4%	+0.1pt	-	4.4%	2.6%	+5.1pt	-
親会社株主に帰属する当期利益	△59.2	△1.5	6.9	8.5	+1.6	+23.1	15.5	14.0	+73.2	-
売上高比率	△5.2%	△0.3%	2.5%	2.6%	+0.1pt	-	2.5%	1.2%	+6.4pt	-
設備投資	56.2	15.6	7.5	26.8	+19.3	+257.3	34.3	50.0	△6.2	△11.0
減価償却費	71.9	28.7	14.5	13.4	△1.1	△7.5	27.8	56.6	△15.3	△21.4
研究開発費	41.6	18.4	9.4	10.0	+0.6	+6.3	19.5	38.0	△3.6	△8.7
平均為替レート USD/円	108.74	106.92	104.51	105.00	0.4%の円安		104.76	105.84	2.6%の円高	
ユーロ/円	120.82	121.30	124.54	116.00	6.8%の円高		120.27	120.79	0.02%の円高	

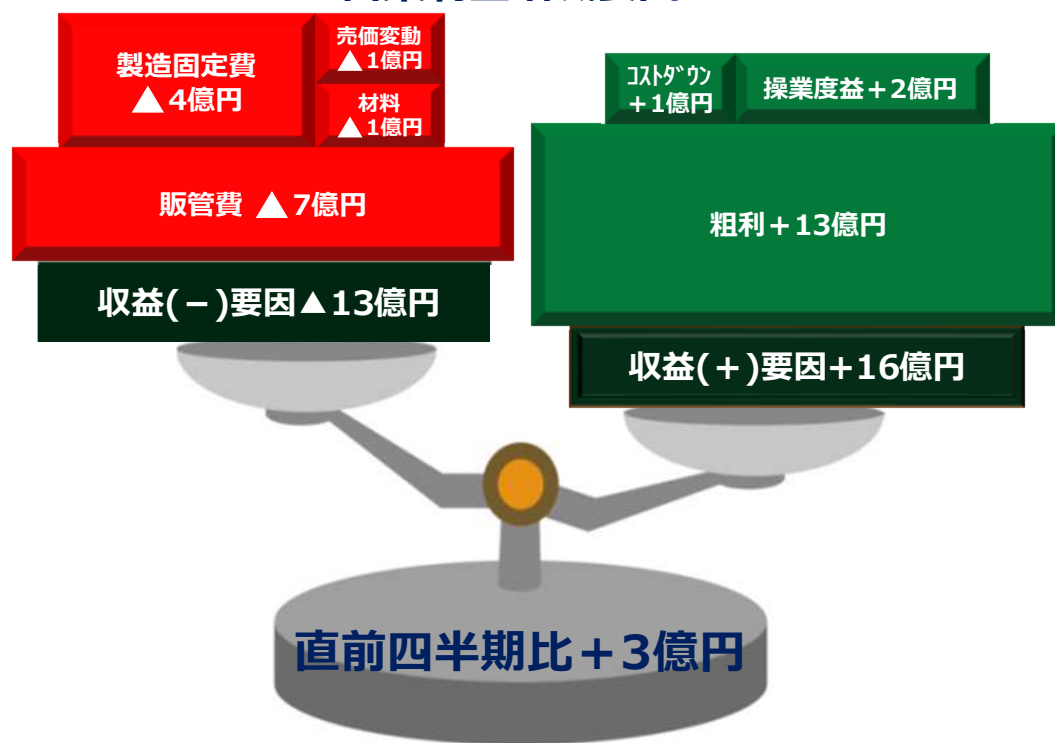
## ● 2020年度第4四半期見通し 営業利益（直前四半期比）

収益(+)要因 ① 新製品拡販による製品ミックスの改善＝粗利増 ② 操業度益 ③ コストダウン

収益(-)要因 ① 物流費等販管費増加 ② 製造固定費増加 ③ 売価変動 ④ 材料費高



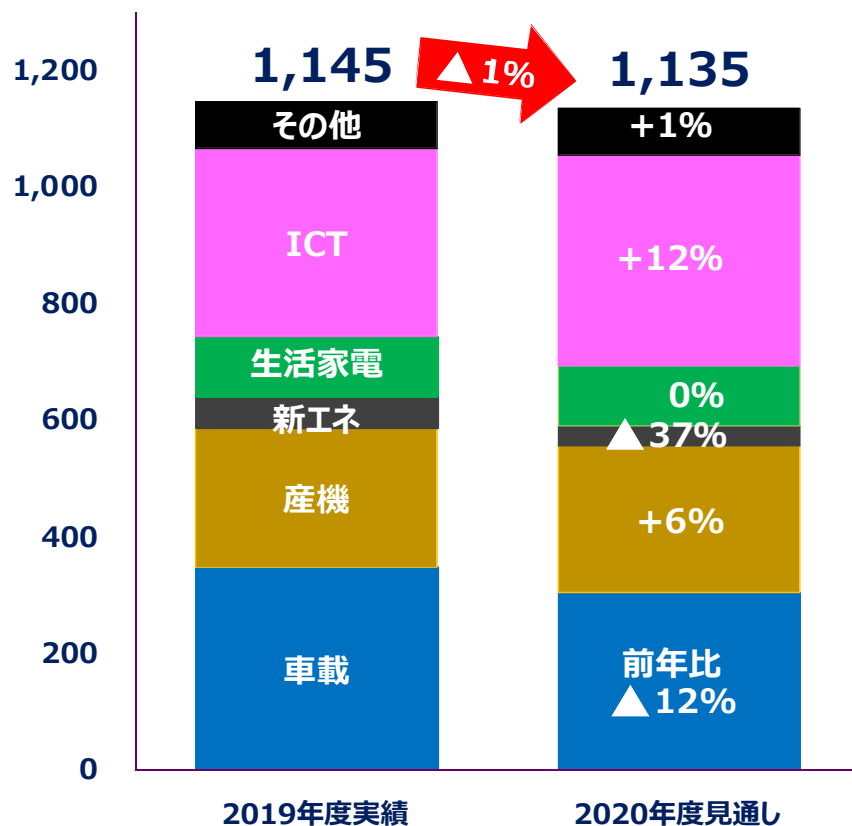
## 2020年度第4四半期見通し 営業利益増減要因



## ● 2020年度 売上高見通し 戦略市場別（前年比）

**Withコロナ下、戦略3市場（車載・ICT・産機）は新たな成長局面へ**

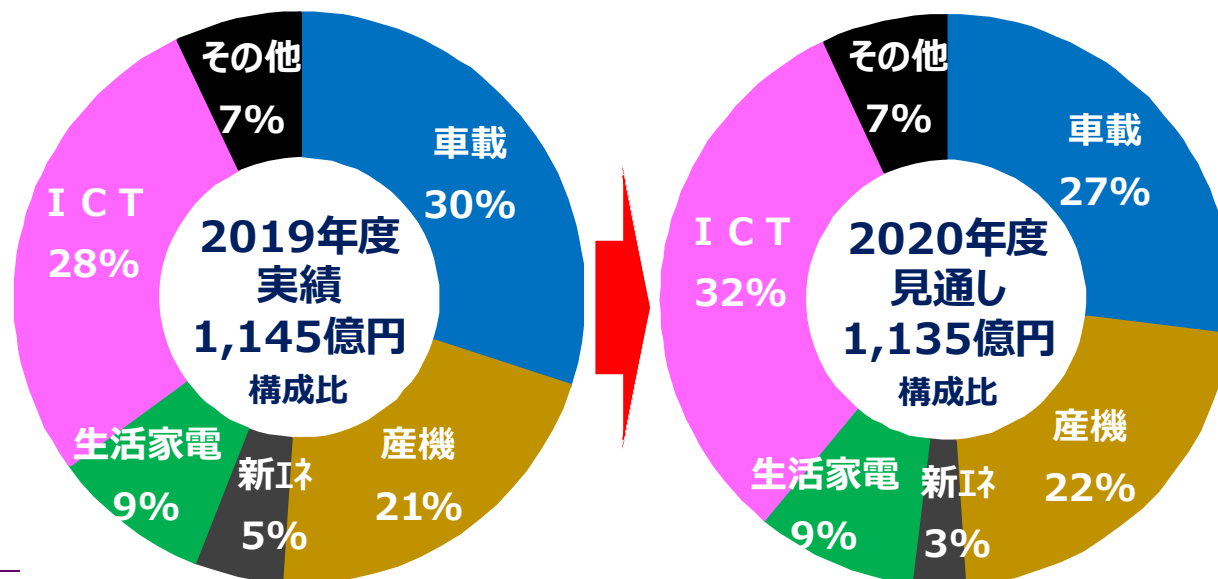
売上高：億円



車載：想定に近い形で全世界的に自動車の生産台数が回復

産機：ICTから車載、一般機械設備への拡大が進む

ICT：COVID-19対応によるテレワークの普及等で堅調な推移



## ● 構造改革の断行「景気変動に左右されない収益構造と市場環境の変化に対応できる経営基盤の構築」

### 1. 収益力の改善

・固定費削減による損益分岐点の引き下げ ・設備投資の選択と集中による資金効率向上

### 2. 財務体質の改善

・営業キャッシュフローの向上 ・SCM体制の抜本的改革による在庫の圧縮 ・自己資本拡充による財務健全性の向上

### 3. スピード経営の具現化

・役員体制の見直し ・本社組織の統廃合

## ● 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について

### ・感染症予防の徹底

出社時のサーモグラフィによる検温の実施、手洗い、マスクの着用、社内行動履歴の記録、社内外会議のオンライン化、展示会などイベント対応の自粛などに努めています。

・日本ケミコングループは、地域住民の皆様、お客様、お取引先様、および全従業員の健康と安全を最優先に考え、政府方針に基づいて行動するとともに引き続き感染予防と感染拡大防止に取り組んでまいります。

感染症予防の徹底により、現状、生産に対する影響はほぼない状況です。

今後ともご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

**〔注意事項〕**

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測につきましては、本資料作成時点において入手可能な情報により当社が合理的に判断した予想であり、実際の業績は、今後、様々な要因により変動する場合があることをご承知おき下さい。

また、本資料に記載されている将来予想に関する事項についてその内容を更新し、公表する責任を負いませんのでご了承願います。

投資に関する最終決定につきましては、投資家の皆様ご自身の判断で行われますようお願い致します。

本資料の内容に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社及び各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承願います。

**〔Note〕**

The projected performance figures in this material are based on information available to Nippon Chemi-Con's management at the time this material was prepared.

There are many uncertain factors inherent in forecasting, and there might be cases in which actual results differ from forecast values. Nippon Chemi-Con undertakes no obligation to publicly update or revise any forward-looking statements included in this material.

If you are interested in investing in Nippon Chemi-Con, you are requested to make a final investment decision at your own risk.

Please note that neither Nippon Chemi-Con nor any third party providing information shall be responsible for any damage or loss you may suffer due to investment in Nippon Chemi-Con based on the information shown in this material.